



学校の校訓は『カー杯 今を生きる』 教育目標は『すすんで励もう』です

## 「書くこと」について

大きな行事の多かった二学期も、残すところ一か月になりました。今月は学習発表会がありましたが、生活科や総合的な学習の時間などに学んだことを、学年ごとに発表しました。体いっぱい使った演技あり、プレゼンテーションソフトを使って講演会のような発表ありと、よく工夫されていました。おそらく何度も練習を重ねたのでしょう。すばらしい発表ばかりでした。また、今年もドラムサークルの方が来校してくださり、全員で打楽器を演奏してリズムコミュニケーション活動を楽しみました。子どもたちの弾けるような笑顔を見ることができました。こうした表現力の育成につながる教育活動を、今後も取り入れていきたいと考えています。



さて、先日今治市越智郡小中学生書道展が行われました。第39回を迎える伝統ある書道展です。表彰式の会場には、三千点を超える全応募作品が展示されていました。作品を見せていただきながら、改めて「自分で書く」ことの大切さを感じました。私たちは日常生活の中で、中国よりもたらされた漢字、漢字を基に日本で生まれたカタカナや平仮名、欧米から伝わったアルファベットなど多くの文字を自由自在に使いこなしています。考えてみると、これはすごいことではないかと思えます。書くべき文字を思い出し、書きたい内容を選び、しかも書くスペースや文字のバランスを考えながら、指先に集中して手を動かして文字を書いているのです。身体も動かしつつ、脳もフル回転しているでしょう。脳の働きを高めることだけでなく、集中力アップや記憶力の強化など、学習の質の向上にも効果的なのだそうです。

また、自分で書くということは表現力の育成にもつながります。今治・越智地区の地域文集「うしお」では、本校の児童が積極的に応募し、毎月大勢の児童が入選しているのはたいへん喜ばしいことです。これからも、いろいろな形で「書く」機会をつくっていきたいと思います。

私事になりますが、小学校当時、担任の先生から「あなたの字は好きだから、たくさん書こう。」と言われたことがあります。きっと「手を抜かずにしっかり書け！」という励みだったのだと思います。お陰で仕事に差し支えない程度の文章は書けるようになりました。ただ、お世辞にも読みやすいという字ではないため、きっと先生方に迷惑をかけているでしょう。

## 第2回家庭学習『チャレンジ週間』を行います

11/28~12/4は、2学期の家庭学習チャレンジ週間です。御家庭で話し合って「これだけはやってみよう！」という目当てを設定し、チャレンジさせてみてください。

